

【婚活で「勘違い男性」にならないためのチェックシート】

基本的な考え方		お見合いなどの初対面で勘違い	
身だしなみなんて気にしないでいいと思っている		プロフィールの内容を無理やりよく見せようとする	
年齢に関係なく「若い女性と結婚したいのは当たり前」と考える		お見合いの待ち合わせで「ここの席にいる」と連絡するのが優しさだと考えている	
男性はいつでも子どもをつくれると考えている		お見合い後に駅まで送るのがマナーだと信じている	
結果が悪いと「自分がうまく話せなかったから」とってしまう		お見合いやデートで奥側の席に自分が座ることを躊躇しない	
自分のスペックがいいと「自分が上」の前提に立ってしまう		「気持ちよく話せた＝会話がうまくいった」とってしまう	
自分から断らないのを優しさだとする		お見合いなどの初対面がうまくいけば「もう大丈夫」とってしまう	
自分の理想を押しつけるが、自分は努力しようとしない			
インターネットの情報を簡単に信じてしまう		デートでの勘違い	
		デート先を勝手に決めるのが「男らしさ」だと考えている	
相手とのコミュニケーションで勘違い		初デートのお店を相手が探すと言ったら、すぐに任せてしまう	
自分の言動は間違えていない前提に立ちすぎる		デートの結果だけを重視してプロセスを軽視する	
自慢話がアピールになると思っている		出会って間もなく彼氏気取りでLINEを送ってしまう	
共通点で盛り上がると意気投合したと感じてしまう		次のデートに誘うとガツガツしていると思われると考えている	
自分を上げようとして相手を否定してしまう		相手に好かれようとして何でも合わせてしまう	
気持ちがなくてもたくさん褒めることが大事だと信じている		交際に慣れていなくても、高級店に連れていけば大丈夫と考えている	
過去の恋愛経験や婚活状況を聞いてしまう		仲良くなるには早くからスキンシップを取るべきと考えている	
「家事を積極的に手伝います」が強みになると思っている		「相手の立場に立つ＝自分だったら」と安易に考えてしまう	
「甥姪好き」が育児アピールになると考えている		お見合いやデートは相手を100%満足させなければと考える	
「社会とつながっていてほしい」と思うのが親切だと考えている		デート中、歩くスピードなんて気にしないでいいと考えている	
アピールしようとして、お見合いでプレゼントを渡してしまう		デート代の支払いで損得勘定を優先してしまう	
聞き上手になるには「ひたすら話を聞けばいい」と思っている		家族との同居や持病など重い話題は後回しにしてしまう	
気まずい雰囲気になるのを恐れて、本質的な話を避けてしまう		相手の体調よりも自分の気持ちを優先してデートを続ける	
相手の条件確認に「深い話をしてくれた」とってしまう		相手に対して前向きでないのに「デートに誘わなきゃ」とってしまう	
お見合い開始早々「3分間で自己紹介します」と一方的に話してしまう			
		結婚観での勘違い	
		「お相手を幸せにしなければいけない」と思っている	
		共働きは単純に世帯年収が増えるだけだと考えている	
		「パートナーと一緒にキッチンに立ちたい」がアピールだと考えている	
		結婚するには趣味が合うことが一番大事だと考えている	
		相手の職業が看護師や介護士、保育士だからと安易に甘えようとしてしまう	
		すでに持ち家があることがアピールになると思っている	